

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：福島県鮫川村

協定締結日：2010/6/30

活動状況：継続中

活動資金：個人予算

担当教員（所属）：入江 彰昭（地域環境科学部）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：上地由朗（農学部）、竹内将俊・栗田和弥（地域環境科学部）、
穂坂賢（応用生物科学部）入江満美（国際食料情報学部）

活動目的：

- （1）鮫川村里山まるごと体験学校の実施
- （2）鮫川中学校の地域学習ワークショップの実施

活動内容・成果：

- （1）鮫川村里山まるごと体験学校の実施

第110回活動 9/14-15 今回は、農村公園の再整備活動とワークショップ、八幡神社祭礼参加などの里山活動を村民の方々との交流を楽しみながらおこなった。

第111回活動 11/23-24 今回は、農村公園の再整備活動とワークショップ、地元芋煮会、駅伝大会などの地元行事へ参加し、交流を楽しみながらおこなった。

第112回活動 1/18-19 今回は、間伐、炭焼き、どんと焼き、農村公園の再整備活動などの地元行事へ参加し、交流を楽しみながらおこなった。

- （2）鮫川中学校の地域学習ワークショップの実施

鮫川村中学生の地元学、キャリアデザイン授業サポートした。 →別紙参照

課題・改善点：活動時の交通費



どんと焼き（鳥小屋）



間伐・炭焼き

村を良くするには

鮫川中 魅力や課題発表

鮫川中のキ
ヤリア探究学
習は四日、鮫
川村の同校で
行われ、生徒
が将来を考
え、村を良く
していくため
の課題を探っ
た。

一、二年生
合わせて約五
十人が参加し
た。村内で酪

農業を営む清水大翼さ
んが、古里でジャージ
ー牛を飼育する牧場を
始めるまでの経緯など
を紹介した。

生徒は九班に分かれ
て、自然と人情あふれ
る村の魅力や交通の便
が悪いことなどの課題
をまとめ、発表した。



鮫川村の魅力などを発表する生徒

東京農大生と地域住民
が意見をまとめる手
いをした。

最後に東京農大の入
江彰昭准教授が「地域
の長所と短所を、地域
外の人も交えて話し合
うことは重要。長所は
住んでいると意外に分
からない」と講評した。